

平成18年度・第38回 全国ミニバスケットボール大会 第12回茨城県予選大会組合せ及び結果 (男・女)

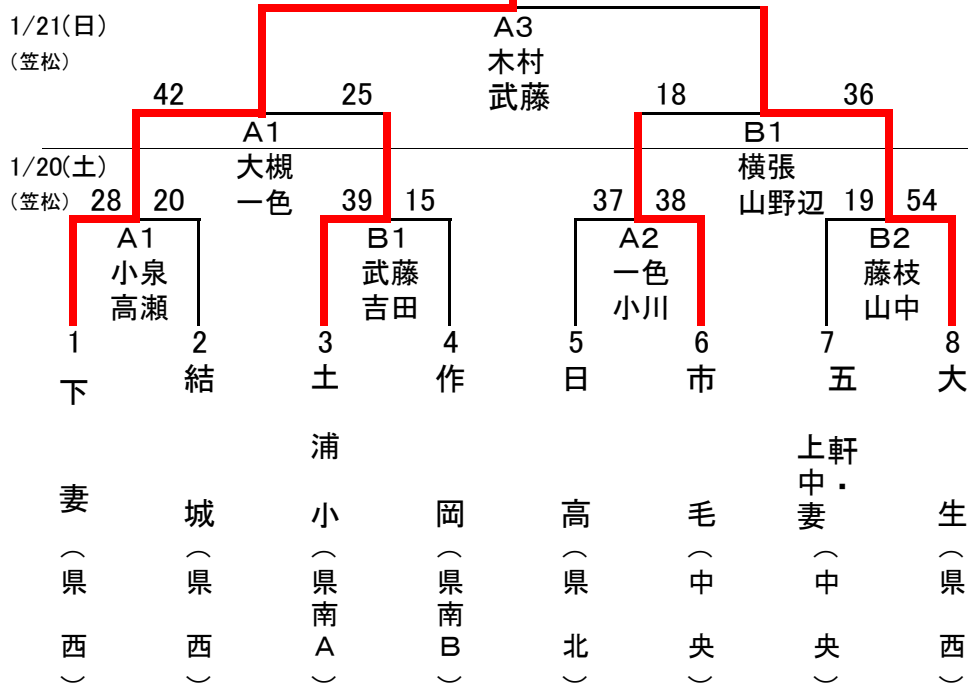
1/20(土) A・Bコート(笠松運動公園体育館)
 1/21(日) A・Bコート(笠松運動公園体育館)

- 10:00~
- 11:05~
- 12:10~
- 13:15~ (女子)

(出場枠)県選手権大会ベスト8より
 (女子) 県北:1 中央:2 鹿行:0 県南A:1 県南B:1 県西:3
 (男子) 県北:1 中央:2 鹿行:0 県南A:4 県南B:0 県西:1

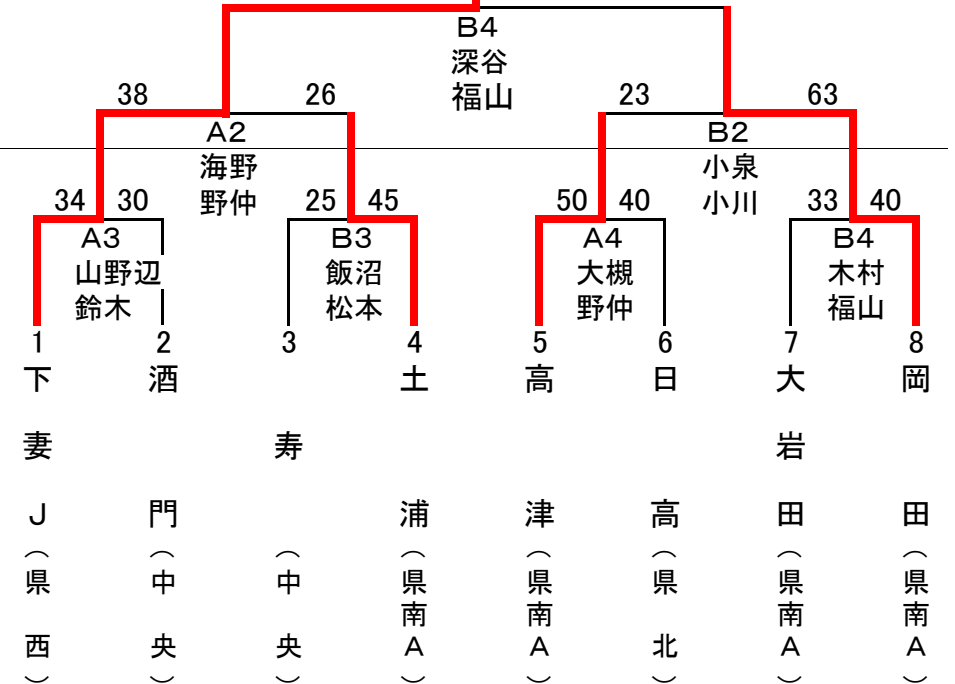
優勝 下妻

| | | | | |
|----|----|------|----|----|
| 36 | 3 | -1Q- | 4 | 28 |
| | 15 | -2Q- | 4 | |
| | 14 | -3Q- | 8 | |
| | 4 | -4Q- | 12 | |



優勝 下妻J

| | | | | |
|----|----|------|----|----|
| 27 | 7 | -1Q- | 2 | 22 |
| | 10 | -2Q- | 4 | |
| | 6 | -3Q- | 5 | |
| | 4 | -4Q- | 11 | |



女子決勝戦選評(渡辺八郎氏筆)
 1Q: 大生⑦、下妻⑧のシュートでゲームが動き始める。両チームとも激しいディフェンスで得点が入らず(3-4)で大生が僅かにリードで終了。
 2Q: 下妻⑬のシュート、すると大生④がフリースロー2本とも決めお互い譲らず接戦が続く中盤、④のシュートでペースを掴んだ下妻が一機に引き離し10点リードで折り返す。
 3Q: 下妻はイン・アウトを使い分け得点を重ねる。一方、大生も反撃するも気持ちの空回りかシュートミスが目立つ。下妻着実に加点し更にリード16点に拡げる。
 4Q: 立ち上がりから大生が④⑥を中心に反攻開始。下妻も必死に守るも大生の猛攻が点差を半分にまで詰める。残り3分20秒、タイマーの電源が切れるアクシデント。5分間の中断。再スタート後は下妻がストーリングで時間を使い出す。大生必死に追い上げを図るもタイムアップ。シュート力に勝る下妻が秋の選手権大会に続き全国予選会も勝ち上がり全国大会出場の切符を手にした。

男子決勝戦選評(土屋貴史氏筆)
 1Q: 両チームともゾーンDにて静かなに立ち上り。どちらもディフェンスを崩せず外からのシュートが多くなる。④のシュートで下妻先制、その後も加点し7-2下妻リードで終了。
 2Q: 両チームともディフェンスを崩せずアウトからのシュートを狙う。下妻⑦を中心にのミドル・速攻が決まり点差を拡げる。
 3Q: 岡田がゴール下で頑張り下妻のファールを呼び込むも点差が詰らない。
 4Q: 岡田が反撃を開始。堅いディフェンスから果敢に攻め、⑤⑦の連続シュートも決まり10点差を3点差まで詰めてくる。下妻も必死のディフェンスでリードを守る。勝負勘に優れる下妻が最後は駄目押しのシュートも決め逃げ切り勝利。
 関東大会に続き、男女チーム揃っての全国大会出場獲得の快挙。活躍を祈念する。